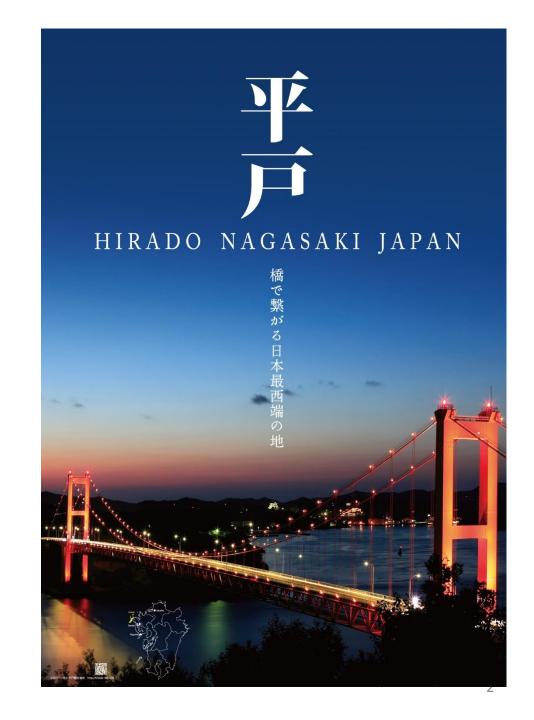




平戸は日本の公園である。

種田山頭火





長崎市から車で

ながさき出島道路



長崎自動車道



西九州自動車道



佐々IC



県道227号線



平戸市

長崎市~佐世保市(経由地) 約75分 佐世保市~平戸 約45分 >>計約120分

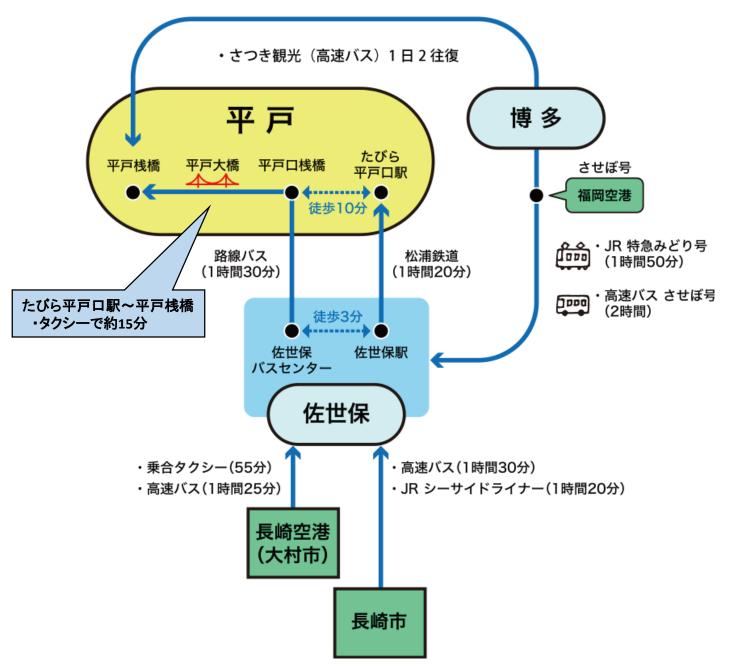
長崎市~HTB

国道206号:約90分

公共交通機関利用









平戸市は、九州本土の西北端、平戸瀬戸を隔てて南北に45kmあり北から南までは1時間以上かかります。

南北に横たわっている平戸島と、その周辺に点在する大小およそ40の島々から構成されています。

人口はおよそ30,000人。島の形は「タツノオトシゴ」にも似ており、 北は玄界灘、西は東シナ海を望んでいます。

平戸市は、平戸島・生月島・大島・度島、本土側の田平から構成されています。

- ■的山大島(あずちおおしま) 平戸港~的山港 約40分
 - ・避粉地(杉がほぼない)
 - •重要伝統的建造物群保存地区(古民家群)





■生月島

平戸大橋から生月大橋までは約30分、生月島一周が約1時間

市内アクセス:車 生月島 壱部 白石 15% 山中 川内 獅子 紐差 10% 前津吉 志々伎 宮の浦

生月島

・オオバエ灯台・塩俵断崖・中江ノ島

北部地区

- ・ザビエル記念聖堂 ・松浦史料博物館
- ・寺院と教会の見える風景・オランダ商館





田平地区

- •田平天主堂
- ・たびら昆虫自然園

中部地区

- •紐差教会
- ・根獅子の浜 (日本のビーチ百選)
- ・人津久海水浴場(死ぬまでに行きたい日本の絶景:2014)

南部地区

- ・福田酒造(じゃがたらお春・長崎美人)
- •志々伎山、佐志岳







富春園

◆キリスト教の布教

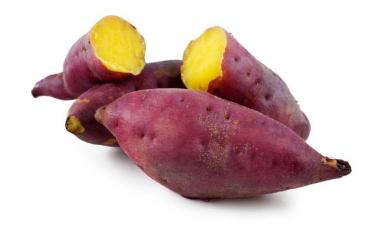
・1549年 フランシスコザビエルが鹿児島に上陸。 1550年 平戸にポルトガル船が入港した事を知り平戸へ 来島。3度の来島により平戸全域で布教を広める。特に 生月島では領主籠手田氏による一斉改宗が行われた。

◆南蛮貿易

•15世紀~17世紀初頭、ポルトガル・スペイン・オランダ・イギリスの貿易船が来港。

歴史的にそれ以前より、中国とも貿易が行われ、たばこ・サツマイモ・ビール・洋菓子・砂糖などは、平戸にはじめて持ち込まれたものである。





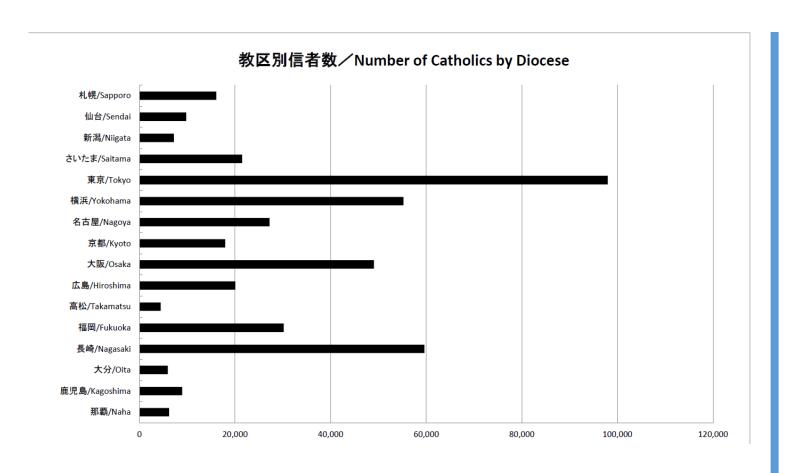
キリスト教の弾圧が始まる

- 日本各地でキリスト教が広がるにつれ、キリシタンと寺院や神社の間で対立も 起き始めます。
- ・豊臣秀吉は1587年に、キリスト教の宣教師を国外に追放する「伴天連追放令」 を出します。しかしながら徹底的な弾圧は行われず、本格的な禁教が全国的に 始まったのは江戸時代になってからです。そのような中、平戸ではキリスト教に 寛容だった松浦隆信の死後、全国的にも早い1599年から弾圧が始まりました。

潜伏し、密かに信仰をつたえる

それまで集落にあった教会堂や十字架は壊され、人びとはお寺や神社も受け入れますが、キリシタンの信仰も密かに続け、「潜伏キリシタン」と呼ばれています。家の奥に「納戸神」と呼ばれるご神体をおまつりし、「オラショ」というキリシタンの祈りの言葉を唱えながら、信仰を受け継いできました。

日本におけるカトリック信者の人口



■カトリック人口 (2019年)

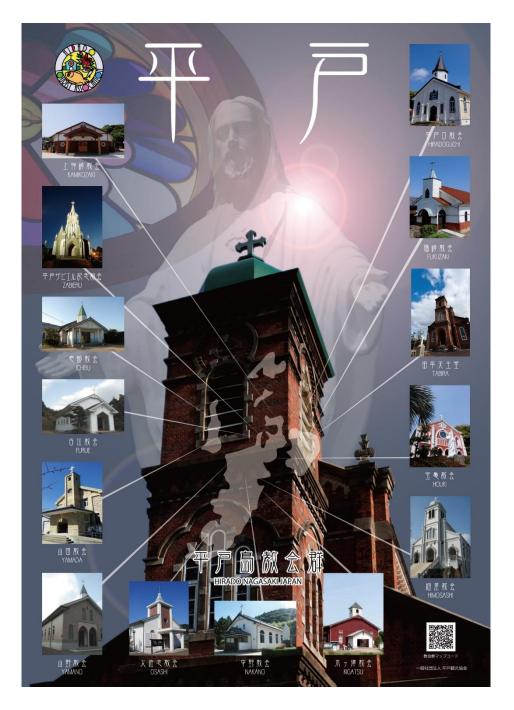
全国431,070人 長崎県59,642人

ザビエルが初めて日本に上陸した鹿児島県全体で8,940人です。

平戸は、人口約36,000人、カトリック信者は約4,600人。市民の1割以上にあたり、日本でのキリシタン布教発祥の地と言えます。

※プロテスタントは含まない





平戸オランダ商館



平戸オランダ商館は、1609年に江戸幕府から貿易を許可された東インド会社が、平戸城主松浦隆信公の導きによって平戸に設置。オランダ商館長日記などの記述によると、当初は土蔵の付属した住宅1軒を借りて始まり、その後、貿易が拡大するに従い、順次施設の拡大整備が行なわれました。1637年と1639年に建設された倉庫は規模が大きく、充実した貿易の象徴でした。

しかし、1640年11月9日、将軍徳川家光の 命を受けた大目付井上政重により、1639年 建造の倉庫にキリスト生誕にちなむ西暦の 年号が示されているとして、当時の禁教令 の下、全ての建物を破壊。 翌1641年長崎の出島へ移転

平戸の世界遺産

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)



禁教の時代を迎え、多くは棄教したが、生月島や平戸島西岸などでは信仰を守る信者もいた。 彼らは潜伏キリシタンと呼ばれ、神父不在の下で秘密の信仰組織を運営し、オラショ(祈り)を唱え、納戸 に隠したキリストや聖母マリアの絵を拝んだ。

また、山や島を聖なる場所として崇敬した。かつて信者が処刑された中江ノ島は、<mark>聖地「サンジュワン様」などと呼ばれ、その島の水は聖水とされている。</mark>

安満岳(やすまんだけ)には神社仏閣があり、キリスト教徒と鋭く対立したが、禁教時代には神仏信仰と並存するようになってキリシタンの聖地ともなった。かつて**1561年に教会が建てられた春日集落**は、潜伏キリシタンが多く、安満岳山頂に参詣道が続いている。これら、中江ノ島、安満岳、春日集落が世界遺産候補「平戸島の聖地と集落」で、2010年に「平戸島の文化的景観」として国の重要文化的景観に選定されている。





ルイス・デ・アルメイダの書簡

「春日と称する別のキリシタン集落へ向かった。

春日に到着すると、我らが訪問することがすでに知られており、十字架へ続く道は聖体の行列を待ち受ける時のような有様であった」「その土地全体がキリスト教徒で善良な人々であったことから、私はデウスに祈りを捧げ、パードレが来たとき、彼らのためにミサを挙げるための一軒の家屋を造るようにと促しました。.....この教会は海も陸にも大変見晴らしの良い、風通しの良い、信仰深い土地にあります」







丸尾山



キリシタン関連の資料がある施設







隠れキリシタン関連の場所

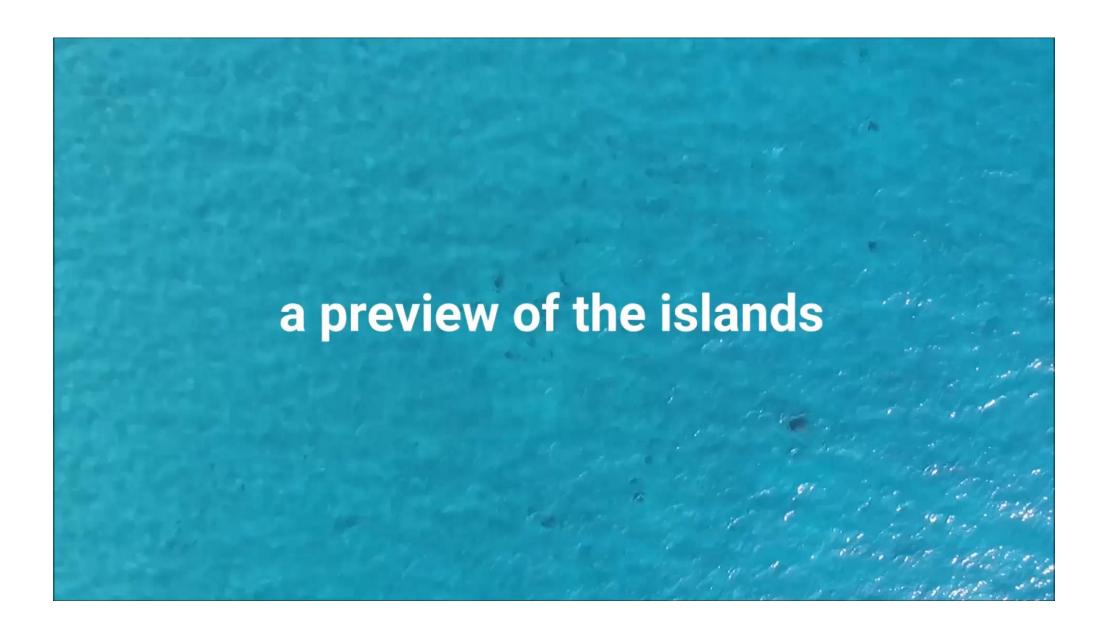














陸路で行ける最西端 生月島













